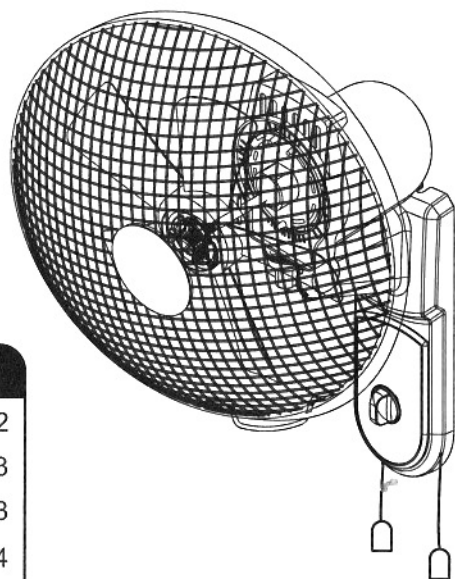
ゼピール　壁掛扇風機（羽根サイズ30cm）

DKL-A3112

取扱説明書（保証書付）

このたびは 壁掛扇風機 をお買上げいただき、誠に有難う御座いました。
ご使用の前に、この取扱説明書（保証書付）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。
万一ご使用中に分からないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

●イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

もくじ

●この扇風機は、一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因となります。

●この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY

「安全上のご注意」

※ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近辺に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警　告

⃠	羽根・ガードをつけずにモーターを運転しないでください。けがをする恐れがあります。
⃠	水につけたり、水をかけたりしないで下さい。 ショート・感電の恐れがあります。
⃠	修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
●	お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。
⃠	包装用ポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管する。 誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因となります。
⃠	使用中（羽根の回転中）に、ガードを持って、上下、左右に風向きを変えない。 ガードを持って、強く操作すると、羽根がガードにあたる場合があり、羽根が破損し、ケガをする原因になります。

⚠ 注　　意

交流100V以外では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

本製品は、一般家庭用です。次のような所では使わないで下さい。感電、火災、破損、故障の原因になります。
- ●温室やビニールハウスなど湿度の高い所、雨や水しぶきがかかる所。
- ●工場内などの油のつきやすい所。
- ●有機溶剤を使用している所。
- ●砂ほこり、綿ほこり、金属粉の多い所。
- ●室外や40℃以上の高温になる所。
- ●ガスレンジなど炎の近くや、引火性のガスのある所。

髪をガードに近づけすぎない。
髪が巻き込まれてけがをする恐れがあります。

風を長時間からだにあてないでください。
健康を害することがあります。

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。電源コードを束ねてある結束バンドは必ずはずしてお使いください。

ガードの中や可動部へ指などを入れないでください。けがをする恐れがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

本体に異常（大きな騒音や大きな振動など）が発生した場合は、ただちにご使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグのほこりなどは、定期的に取る。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

「各部の名称と使いかた」

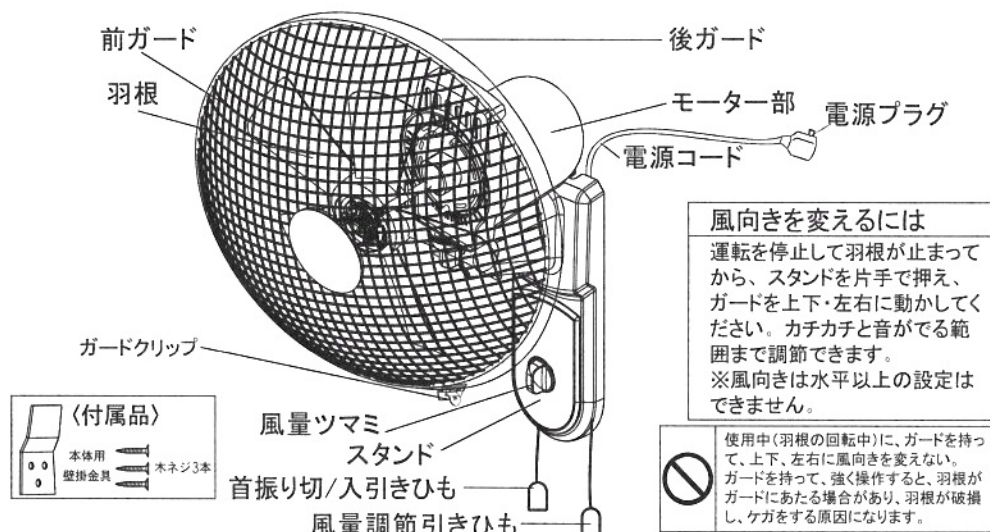
※製品は、イラストと少し違うことがあります。

前ガード
羽根
後ガード
モーター部
電源プラグ
電源コード
ガードクリップ
風量ツマミ
スタンド
首振り切/入引きひも
風量調節引きひも

〈付属品〉
本体用壁掛金具
木ネジ3本

風向きを変えるには

運転を停止して羽根が止まってから、スタンドを片手で押え、ガードを上下・左右に動かしてください。カチカチと音がでる範囲まで調節できます。
※風向きは水平以上の設定はできません。

使用中(羽根の回転中)に、ガードを持って、上下、左右に風向きを変えない。ガードを持って、強く操作すると、羽根がガードにあたる場合があり、羽根が破損し、ケガをする原因になります。

「操作のしかた」

操作パネル

● 運転する時は、最初に風量調節引きひもを引いてください。
風量ツマミでも操作できます。時計回り(右回り)にツマミを
● 回してお好みの風量を選んでください。

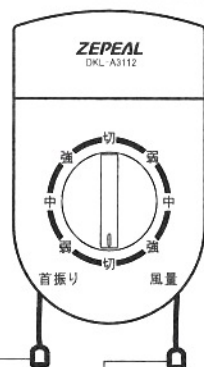
ZEPEAL
DKL-A3112
切 弱 中 強 切 強 中 弱
首振り 風量

首振り(左)の使い方

● 引きひもで首振操作をします。
引きひもを真下に軽くひく度に、首振り動作が切、入と交互に切り替わります。

首振り運転中に、無理やりガードを動かしたり、固定させたり、首振りを妨げる行為をしないでください。
● 故障の原因になります。

風量を調節するには

● 風量調節引きひもを真下に軽く引いてください。風量調節引きひもを引くごとに、風量が順送りで変わります。風量ツマミの指示位置を見ながら調節してください。
●「切」の位置で運転を停止します。

「組み立てかた」

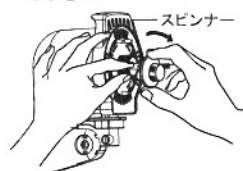
お 願 い

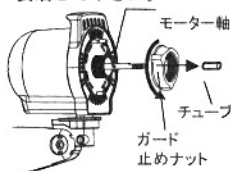
●包装部品は扇風機を保管するとき、必要となりますので、捨てないでください。
●羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は、はがさないでください。
●ガード止めナットとスピンナーはネジ山に注意し、かたむきのないようしっかり締付けてください。
●羽根をつけずにモーターを運転しないでください。けがをする恐れがあります。

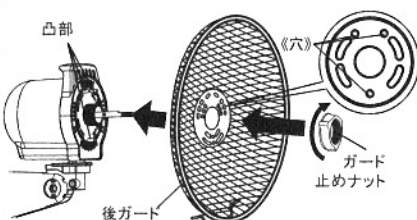
1～5の順番で組み立ててください

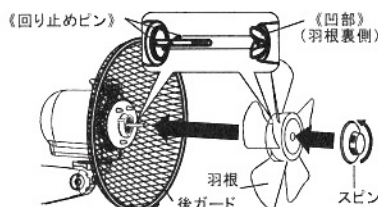
モーター部は、ガード、羽根を取り付けない状態ではモーター重量バランスにより水平に近い高さとなります。本体にガード、羽根を取り付け、組み立てを完成させてから金具に取り付けてください。

1. スピンナーをはずす

●左手で回り止めピンを押さえて回らないようにして、右手でスピンナーを右（矢印の方向）へ回してはずして下さい。

2.チューブをはずす

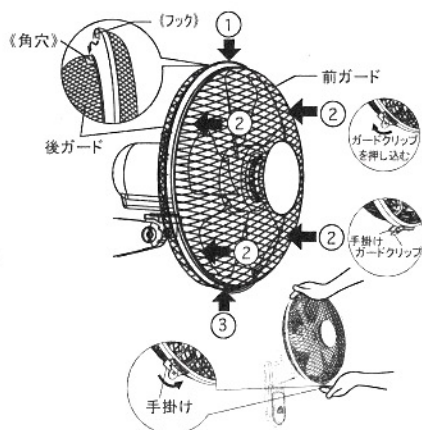
●モーター軸のさび防止用チューブをはずしてください。ガード止めナット、スピンナー、チューブは保管の際本体に装着して下さい。

3.後ガードの取り付け

●後ガードの穴をモーター部前面の凸部に差込み、「ガード止めナット」を右に回して、確実に締付けてください。

4.羽根の取り付け

●モーター軸の「回り止めピン」と羽根裏側の「凹部」の向きを合わせて、羽根をモーター軸の奥まで差込み羽根を押さえながら、スピンナーを左へ回して、確実に締付けてください。

5.前ガードの取り付け

①前ガードの《フック》を後ガードの《角穴》に合わせて掛けます。
②前ガードを押さえて、全周を後ガードに確実にはめ込み、固定してください。

ご注意 この時、あまり力を入れすぎるとガードが変形するおそれがありますので、力を入れすぎないようにご注意下さい。

③《ガードクリップ》は前ガードと後ガードを挟み込むように、「パチン」と音がするまで確実にとめてください。

前ガードのはずしかた

●電源プラグをコンセントから抜き、羽根の回転を止めてからガードクリップを、はずし、前ガードを上から押さえ、手掛けを手前に引きます。

「取付けかた」

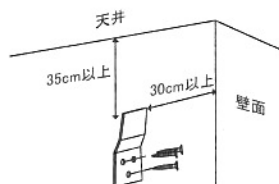
取付け場所・取付け位置

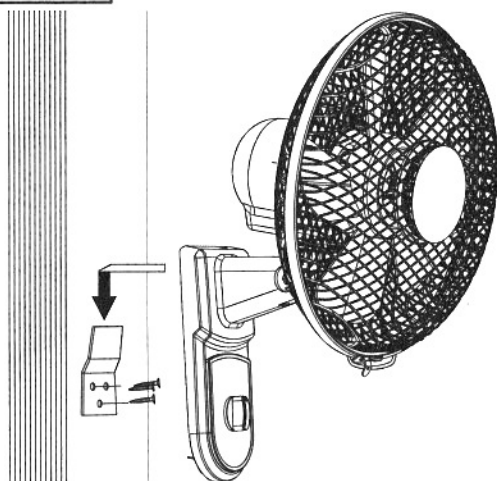
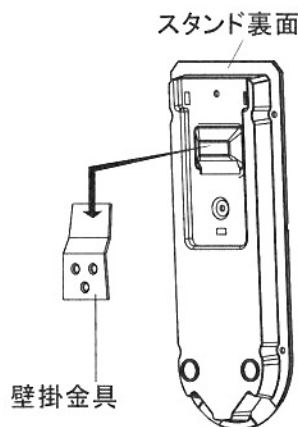
●取付け場所は、扇風機の重量に充分耐える場所（丈夫で垂直な板壁または柱）を選んで取付けてください。
（注）落下防止のため壁面が10mm以下の木板あるいは軟弱な新建材の場合は、必ず裏面に柱あるいは桟（さん）のある丈夫なところに取付けてください。
●首振りさせたとき、ガードが天井や壁などに当たらないところを選んでください。
（注）壁掛け金具は天井から35cm以上、左右の壁から30cm以上離してください。
●本体が上向きで取付け面が垂直になるようにしっかりと取付けてください。
●木に取付ける場合は、付属の木ネジで取付けてください。
●コンクリート壁に取付ける場合は、コンクリートビスを購入のうえご使用ください。
●取付け場所によっては、モーター音と壁とが共鳴する場合があります。

お願い

●うすいベニヤ板、石膏ボード、しっくい壁、モルタル壁など強度のない壁には取付けないでください。
●横取付け、斜め取付け、逆取付けはおやめください。

取付け

●壁掛け金具を木ネジ(3本)でしっかりと取付けます。
●本体の取付け方
本体裏面の壁掛け用穴に、本体用壁掛け金具のつめがはまるように壁面に沿って確実に止まるまで、引き下げて固定してください。

お願い

●木ネジは確実に締付けてください。

「お手入れと保管」

⚠ 警　告	
⃠	羽根・ガードをつけずに、モーターを運転しないでください。けがをする恐れがあります。
	お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。

〈お手入れ〉

羽根・(前、後) ガードにほこりが多量に付着しますと異常音・振動・モーターの過熱の原因になります。組立と逆の順序で分解し、清掃してください。

● 汚れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼってふき、さらに乾いた柔らかい布で洗剤が残らないようにふき取って下さい。

お　願　い

● お手入れには中性洗剤を使用してください。シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。破損・変質の原因となります。

● 化学雑巾を使うときは、その注意書きに従ってください。

● 危険防止のため、羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は、はがさないでください。

● スプレーをかけないでください。〈掃除用、殺虫用、整髪用など〉破損・変質の原因となります。

〈保管〉

羽根を正面に向けて、組立と逆の順序で分解してください。(正面に向かない場合は無理にもどさず、首振りさせて正面に向けてください。)

● 〈お手入れ〉の方法に従って、お手入れしてください。

● モーター軸の汚れを取ってミシン油をうすく塗り、チューブをかぶせてください。(さびの防止)

● 包装ケースに納め、湿気の少ないところに保管してください。

長年ご使用の扇風機はよく点検をお願いします。

★こんな症状はありませんか？

- ●スイッチを入れても羽根が回らない。
- ●羽根が回っても回転がおそかったり不規則。
- ●モーター部が異常に熱い。
- ●異常な音がする。
- ●コゲくさいにおいがする。

★異常があれば

ご使用中止！！
すぐに電源プラグを抜いて事故防止、モーターの焼損防止のために必ず販売店にご相談ください。

アフターサービスについて

① この製品は保証書がついております。お買い上げの際に販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。

② 保証期間はお買上げ日より1年です。保証書の記載内容によりお買上げ販売店が修理を承ります。その他詳細は保証書をご覧ください。

③ 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。

④ 扇風機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

⑤ アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店か本書に記載の（株）電響社へお問合せてください。

仕様					
電圧 (V)	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風速 (m／min)	風量 (m^3／min)	質量 (kg)
100	50	42	180	40	約2.4
	60	47	185	42	

上記のデーターは強風時点の数値です。

※商品の仕様は、品質向上、製品改良のため、予告なく変更することがあります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】(本体に西暦４桁で表示してあります)

※【設計上の標準使用期間】６年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件　　　日本電機工業会自主基準 HD-116-3による

大項目	中項目	小項目	備考
環境条件	電圧	100V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hz及び60Hz	
	温度	30℃	JIS C9601参照
	湿度	65％	
	設置条件	標準設置	機器の取扱説明書による
負荷条件		定格負荷(風速)	機器の取扱説明書による
想定時間等	1日あたりの使用時間	8（h／日）	
	1日使用回数	5（回／日）	
	1年間の使用日数	110（日／年）	
	スイッチ操作回数	550（回／年）	
	首振運転の割合	100（％）	

●「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいます。